

こどものための狂言体験講座

ぶす

—「附子」に挑戦!—

感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い

大蔵流狂言師 茂山千三郎が演出します

「狂言」を通して 日本の伝統を身近に感じてもらうための体験講座です

- 開講日時 ① 6月 9日 (土) 16:00~18:00 (受付・開場 15:45)
② 6月 23日 (土) 16:00~18:00 (受付・開場 15:45)
③ 6月 30日 (土) 16:00~18:00 (受付・開場 15:45)
④ 7月 6日 (金) 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)
- 開講場所 茨木市市民総合センター (クリエイトセンター) 2階・多目的ホール
- 発表表 7月8日 (日) 14:45 開場 / 15:00 開演 / 16:00 終演予定
クリエイトセンター・センターホール / 入場無料
- 講師 大蔵流狂言師 茂山千三郎 / 鈴木 実
- 対象・定員 小学生20人。講座から発表まで5回通しで参加できる方。保護者同伴でご参加ください。
- 受講料 1,000円 (通し)
- 準備物 動きやすい服装で、足袋または靴下を着用してご参加ください。また、録音録画機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。
- お申込み 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (クリエイトセンター1階 9:00~17:00)
4月10日 (火) 9:00 から電話にて先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 備考 1) 講座の様子は主催者により撮影し、情報誌、ホームページ、フェイスブック等において公開される場合がありますので予めご了承ください。
2) 7月8日の発表は公開で行います。どなた様もご入場いただけます。入場無料、事前申し込み不要です。

■主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ■後援：茨木商工会議所 / 茨木市観光協会

四 四 六

文化力
POWER OF
CULTURE



茂山千三郎さんと29年度講座受講生の皆さん (発表の終わりに)

【講座内容】

- ① 6月 9日 (土) 16:00～18:00 基礎講習 狂言の発声・構え・歩行から、簡単な部分稽古、せりふ稽古
*宿題として「せりふを覚えて来よう！」
- ② 6月23日 (土) 16:00～18:00 せりふのおさらい、動き稽古
- ③ 6月30日 (土) 16:00～18:00 通し稽古 *衣裳採寸
- ④ 7月 6日 (金) 18:00～20:00 通し稽古
- ⑤ 7月 8日 (日) 12:50受講生集合／13:00～場当たり、着付け／14:45開場／15:00開演／16:00終演予定
4回の講座で分担して覚えたせりふ、動きを、クリエイティブセンター・センターホールの舞台上で発表し、受講生みんなで狂言「附子」を上演していただきます。
発表は公開で行います。どなた様もご入場いただけます。入場無料、事前申し込み不要です。

※講座では、録音録画機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。

◆狂言「附子」

登場人物／太郎冠者 (シテ)、主人 (アド)、次郎冠者 (アド) 上演時間／約 25 分
(あらすじ)

山一つ向うまで出かける主人は、太郎冠者と次郎冠者に留守番をいつけます。主人は二人に桶を見せ、この中には附子という毒が入っていて、その方から吹く風にあただけで死んでしまうくらいだから、絶対に近づかないようにと言い置いて出かけます。しかし、だめだと言われると、やってみたくなるのが人情。

二人は、こわごわ桶に近づき、中を覗き込みます。すると、中身は附子ではなく、おいしそうな砂糖だったのです。二人は我慢できず、つい砂糖を口にしてしまい、とうとう全部平らげてしまいます。そして、言い訳のために主人秘蔵の掛け軸や、天目茶碗を壊して、大声で泣きながら主人を待ちます。二人は、驚き怒る主人に、わけを話すのですが・・・。

一休さんの頓知ばなしとしても登場する有名な狂言です。



茂山千三郎 (しげやませんざぶろう) 大蔵流狂言師

1964年、十二世茂山千五郎の三男として生まれる。自主公演の花形狂言会やTOPPA!を主宰し、古典狂言の魅力をアピールする。その反面、FM京都のパーソナリティを14年勤め、京都市交響楽団や立川志の輔、夏川りみ、藪内佐斗司らともコラボし、古典の枠にとらわれない活動を展開。『だんご髷』、『都わたり』など、新作狂言の脚本も手掛け、中でも『流れ星-X』は愛・地球博その他で発表し、各地エコロジー団体より上演の要請を受ける。近年では團伊玖磨作曲のオペラ『ちゃんちき』を演出し、UFJ信託銀行奨励賞受賞。著書に集英社新書『世にもおもしろい狂言』がある。2013年、茨木市文化振興財団・追手門学院大学の委嘱により、茨木市に伝承される伝説の鬼「茨木童子」の出生譚に因む新作狂言「茨木童子」を作・演出、茨木別院本堂において茨木童子役で初演。以降も改訂を加えながら、2014年、2016年、2018年と茨木市において再演が続いている。

鈴木 実 (すずきみのる) 大蔵流狂言師

1978年、東京に生まれる。2002年に「café 1036 east」(東京・茂山千三郎社中)で狂言の稽古を始め、2006年に千三郎の元に正式入門する。それまでは、大学在籍中より演劇活動を始め、関東を中心に役者・モデルとして活動していたが、狂言の魅力に取り憑かれ狂言師を目指す事を決意。同年、インド・ニューデリー日本文化センター開所式記念公演に参加。『棒縛り』にて初舞台。2007年、京都能楽養成会入会。2011年より、同門の島田洋海、増田浩紀、井口竜也、山下守之らと狂言「五笑会(ごしょうかい)」を結成。年4回、京都府立芸術会館にて狂言会を催す。2013年、京都能楽養成会卒業。日本能楽協会入会。同年4月に独立。11月に独立披露狂言を開催。日本能楽協会会員。



茂山千三郎 作・演出／新作狂言「茨木童子2018」

■10月21日 (日) 15:00開演 (14:30開場)

■クリエイティブセンター・センターホール

■番組

見どころ解説／茂山千三郎

「古典狂言」茂山千五郎家

筑前琵琶曲「羅生門」片山旭星

新作狂言「茨木童子2018」茂山千三郎、茂山千五郎家、茨木の子役

■チケット

7月中旬予約開始予定

■お問合せ

(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00～17:00)

